

<令和4年度の事業報告>

1. 段ボールコンポストの無料化【新規】

家庭からの食品残渣を堆肥化し、野菜・花づくりに活用していく仕組みを構築することにより、生ごみの減量を推進することを目的に段ボールコンポストの普及を促進。課題である新規ユーザー獲得のため、令和4年度から宇部市民を対象に段ボールコンポストの無料交付を開始。

- 交付箇所 各地区ふれあいセンター（24か所）、宇部市環境衛生連合会、廃棄物対策課
- 令和4年度交付実績 約1,186個（令和3年度399個）
- 令和4年10月に初心者向けの講習会を3回開催

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般向け講習会	12回	5回	5回	14回	15回
	219人	56人	74人	223人	320人
販売等個数	560個	230個	540個	399個	1,186個
環境学習	小学校8校	小学校6校	小学校8校	小学校8校	小学校8校
	保育園8園	保育園8園	保育園0園	保育園1園	保育園0園
各種イベントでの展示説明会	5回	3回	1回	2回	8回

2. うべメールサービス「ごみ収集日」自動配信再開【新規】

宇部市が配信する防災・市政・イベント情報等さまざまな情報を提供するメールマガジン「うべメールサービス」のメニューのうち、「ごみ収集日」について、令和2年度末にシステム変更等のため「ごみ収集日」の自動配信を停止したが、市民の利便性向上及び資源の有効利用を促進し、ごみ排出量を削減することを目的として令和4年8月に自動配信を再開。また、再開に伴い、宇部市公式LINEとの連携が可能となり、宇部市公式LINEごみ・リサイクル登録者に対してごみ収集日のプッシュ通知を開始。

- 対象ごみ収集日：月1回の燃やせないごみの日（燃やせないごみ、びん・缶、ペットボトル、危険ごみ、月1回収集の燃やせるごみ）、古紙、（新聞紙、雑誌・雑紙、段ボール）、紙製容器包装の日
- 配信方法：各地区の収集日の2日前に配信

3. 収集ごみ組成調査【新規】

収集ごみ（家庭系ごみ）におけるごみ種類の実態を把握するため、家庭から排出される月水金の燃やせるごみの組成調査を実施。これまで宇部市焼却場において、ごみピットに投入される燃やせるごみ全体の組成調査を実施しているが、搬入方法別の調査は未実施であることから、今後のごみ減量施策の基礎資料とするため、収集ごみ組成調査を実施するもの。

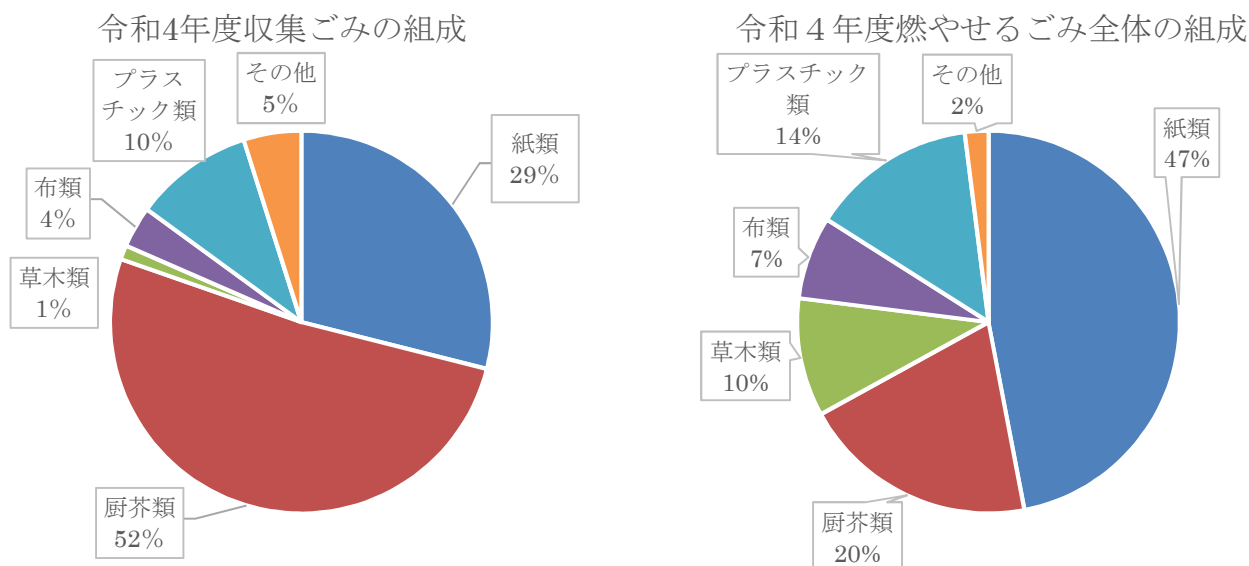
また、収集日（曜日、季節等）や収集地区によりごみ種類に偏りが出ることから、本調査は、収集地区等を考慮しつつ継続することとし、データを蓄積して平均値を算出する。

○調査実施日：令和4年11月7日（月）、令和5年2月3日（金）

○収集地区：川上地区、西岐波地区、原地区、厚東地区

○調査結果：下記グラフのとおり

【参考】



4. 宇部市ごみ減量化機器等購入費助成金【拡充】

ごみの減量化対策の一環として、宇部市における一般家庭等から排出される生ごみ及び剪定枝葉の減量化及び再資源化を推進するため、対象となるごみ減量化機器等を購入した際に係る購入経費の一部を助成。(令和2年11月開始) 令和4年度から、自治会清掃で発生する草木等の減量化及び再資源化を目的としてガーデンシュレッダー購入費補助の対象者に「自治会」を追加

*助成金額

対象機器等本体の購入価格（送料及び消費税相当額を除く。）の2分の1（限度額25,000円

※自治会は、限度額50,000円）1自治会あたり3機まで）

*助成実績

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
補助実績（生ごみ処理機）	18基	22基	18基
補助実績（ガーデンシュレッダー）	50基	30基	27基
合計	68基	52基	45基

5. ごみ減量アイデアコンテスト開催

ごみの減量をさらに推進するため家庭や事業所などで取り組んでいただけるようなアイデアを募集するとともに、新たなアイデアから生まれる取組についても検討していくため、市民や事業者、各種団体からごみ減量アイデアを募集。

○募集期間：令和4年7月1日（金）～9月30日（金）

○応募資格：宇部市内に在住の方または通勤・通学されている方・宇部市内の法人又は団体

○実績：58件の応募があり、事例集を作成するとともに講習会等でアイデアを紹介。

6. 食品ロス削減への取組

食品ロス削減の取組として、令和元年7月からNPO法人フードバンク山口と連携してフードバンク事業を開始。※令和5年度から福祉の観点で事業を推進するため地域福祉課へ業務移管

※フードバンクとは・・・まだ食べられる状態で余っている食品を提供してもらい、それを必要とする施設や団体等に引き渡す活動。

*フードバンクポスト設置場所

宇部市役所、アルク厚南店、アルク南浜店、アルク琴芝店、コープこと宇部店、ゆめタウン宇部、アルク西岐波店、アルク西宇部店、アルク恩田店 計9箇所

*フードバンク実績

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
回収実績（個数）	10,462 個	19,865 個	27,367 個	24,736 個
回収実績（重量）	1,928 kg	3,940 kg	5,485 kg	4,812 kg
提供実績（個数）	6,644 個kg	12,500 個	23,948 個	20,957 個
提供実績（重量）	1,080 kg	2,572 kg	4,424 kg	4,027 kg

<課題>

- ・賞味期限切れ等ポストに回収条件を満たさない食品が出される。
- ・食品回収及び食品管理をボランティアに依存。

フードバンクポスト



<今後の取組>

- ・地域福祉課と連携したフードバンク事業の周知。
- ・30・10運動の展開。
- ・エコクッキングの開催。
- ・やまぐち食べきり協力店の登録店の増加を図る。

7. 古着・古布のリサイクル推進

家庭で不用になった古着・古布を各ふれあいセンター等で回収し、障害福祉サービス事業所でウェス（工業用雑巾）に加工。

令和元年度からは、各地区のふれあいセンターに設置している古着・古布回収ボックスにより回収された古着・古布の量に応じて発生した収益を、当該地区に対して交付金として分配。

*回収場所 各ふれあいセンターなど公共施設 計31箇所

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
回収実績	48,915 kg	58,643 kg	56,134 kg	49,856 kg	45,336 kg
(対前年比)	4% ↑	20% ↑	△4%	△11%	△9%

<課題>

- ・不適物の混入が多く見られる。

<今後の取組>

- ・地域への交付金配布が回収量増加に繋がったことから、今後も地域への支援を継続する。
- ・地域の講習会等で本制度を周知することで、回収量の増加と不適物の排除を図る。

8. 子育て支援リユース事業

家庭で不用になった子供服・絵本、子育てグッズ、子ども用スポーツグッズ、学生服、学用品を市役所等で回収し、リユースフェア等で希望者に無料で譲渡することでリユースの促進を図る。

【子供服・絵本】 平成24年6月から回収開始

*回収場所 市役所本庁など公共施設等 計13箇所

令和4年度にコープこと宇部店、ボスティビルドに回収ボックスを増設

*ときわ公園内ときわ湖水ホール等で「子供服・絵本リユースフェア」を開催

		平成30年度 (9回開催)	令和元年度 (9回開催)	令和2年度 (8回開催)	令和3年度 (7回開催)	令和4年度 (9回開催)
回収実績	子供服	20,681枚 3,470kg	14,716枚 3,008kg	17,810枚 2,868kg	14,290枚 2,679kg	14,833枚 3,881kg
	絵本	3,091冊 779kg	1,939冊 565kg	2,750冊 881kg	3,491冊 1,121kg	2,140冊 665kg
譲渡実績	子供服	15,292枚	14,819枚	15,146枚	12,046枚	13,625枚
	絵本	2,186冊	2,550冊	2,511冊	2,426冊	3,649冊

【子育てグッズ】 平成26年9月から回収開始

平成28年4月からは学生服を、平成29年4月からは学用品を新たな品目として追加した。

*回収場所 市役所本庁など公共施設等 計13箇所

令和4年度にコープこと宇部店、ボスティビルドに回収ボックスを増設

*多世代ふれあいセンター等で「子育てグッズリユース広場」を開催

*事前予約による学生服、学用品の随時譲渡を実施。

		平成30年度 (6回開催)	令和元年度 (6回開催)	令和2年度 (5回開催)	令和3年度 (6回開催)	令和4年度 (7回開催)
回収実績	子育てグッズ	904個	677個	830個	1,074個	701個
	スポーツグッズ	341個	238個	262個	413個	438個
	学生服	510枚	464枚	487枚	560枚	557枚
	学用品	132個	70個	163個	197個	133個
	回収重量(計)	2,032kg	1,846kg	1,942kg	2,579kg	2,208kg
譲渡実績	子育てグッズ	791個	752個	616個	725個	913個
	スポーツグッズ	341個	286個	275個	244個	240個
	学生服	280枚	364枚	396枚	571枚	557枚
	学用品	55個	39個	90個	126個	133個

<課題>

- ・譲渡希望者及び回収ボックス利用者の固定化が考えられる。

<今後の取組>

- ・新規利用者の開拓を目指し、本事業の更なる周知徹底を図る。

9. 家庭系廃食油のリサイクル推進

家庭系廃食油について、スーパーの店頭やふれあいセンター等の回収によるリサイクルシステムを構築し、廃食油から精製されたバイオディーゼル燃料(BDF)をごみ収集車に使用した。

*回収場所 コープ宇部店、アルク（南浜店、恩田店、西岐波店、厚南店）、山口アポロ石油株式会社（宇部西営業所、八幡宮前営業所、ドリームライフアポロ）、川上・西宇部・船木ふれあいセンター 計11箇所

*BDF 精製 (株)アースクリエイティブ

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
回収実績	11,510ℓ	13,417ℓ	14,894ℓ	14,952ℓ	12,988ℓ
(対前年比)	6%↑	16%↑	11%↑	0.4%↑	△14%

<課題>

- ・不適物の回収も特に認められていない。

<今後の取組>

- ・今後も引き続き廃食油のリサイクルに取り組んでいく。

10. 使用済小型家電リサイクル

家庭で不用になった小型家電を各ふれあいセンター等で回収し、入札により選定した認定事業者へ引渡し、再資源化の促進を図った。

*回収場所 各ふれあいセンター、市役所本庁、リサイクルプラザ 計26箇所

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
回収実績	11,975 kg	6,496 kg	8,478 kg	10,420 kg	9,965 kg
(対前年比)	△1%	△46%	31%↑	23%↑	△4%

<課題>

- ・不適物の混入が見られる。(電池、プラスチック製品等)

<今後の取組>

- ・回収ボックスに掲示物を貼付、事業について更なる周知を徹底することで、不適物の混入を防ぐ。

○宅配便を活用した小型家電リサイクルに関する連携協定を締結

小型家電の再資源化を推進するため、リネットジャパンリサイクル株式会社（小型家電リサイクル法認定事業者）と小型家電回収に関する協定を締結。従来の各ふれあいセンター等での回収に加え、令和3年2月から宅配便による便利な自宅回収を開始。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
回収実績	2,247 kg	3,527 kg	2,887 kg
(対前年比)		57% ↑	△18%

11. ありがとう体操服・学生服プロジェクト

ごみの減量及びCO2の削減、また、子ども達自らが、リサイクル活動に関わることにより、モノを大切にす意識、環境意識の向上を目的として、市内小中学校4校において、子ども達の不要になった体操服・学生服等を回収する「ありがとう体操服・学生服プロジェクト」を実施。令和2年度に体操服に限定したモデル事業を実施。令和2年度事業を踏まえ、体操服に加え、学生服や子供服など対象品目を拡大し、回収ボックスを学校に設置。

○令和4年3月1日から回収ボックス設置中（4校中1校のみ令和4年4月末で設置終了）

○設置終了校回収量：33kg

○設置継続校回収量：33kg

※令和2年度モデル事業回収量9kg